

発行: 埼玉県環境部水環境課  
 TEL: 048-830-3088  
 FAX: 048-830-4773  
 E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp



# 川の国応援団通信



## 子供向け

### 「みんなの川のチェックシート」



子供たちに川やその周りの環境への関心を高めてもらうために、新たに、「子供版」みんなの川のチェックシートを作成しました。

このシートは、子供たち自身が「見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる」の五感を使って評価するもので、特別な調査器具を使わずに簡単に川やその周りの環境をチェックすることができます。

また、子供たちに説明するための実施マニュアルも合わせて作成し、河川環境の改善や維持などについて子供たちの関心が深まるよう、調査手順や着眼点をまとめました。

なお、このシートは平成23年度に作成した「五感による河川環境指標」川の好感度チェック」の子供版として作成したものです。

作成にあたっては、川の再生活動に取り組んでいる方々を委員とする検討会で議論いただき、さらに学校など実際に活用する方々の御意見を取り入れて、

子供たちにわかりやすい内容としています。

### ○チェックシートの使い方

このチェックシート

は子供たち自身が「見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる」の五感を使って川やその周りの環境を評価する

ものです。

・10項目の質問を3段

**子供版 みんなの川のチェックシート**

1 川を観察してみよう!  
 ○このシートを持って川に出かけてみましょう。  
 ○質問①～⑩を3段階で自分が思ったところに○を付けてみましょう。

川に行くときは必ず大人の人と一緒に行きましょう。

名前	( )	日	平成	年	月	日	時	分
天気		今日	昨日	天気	天気			
学校名 (団体名)		場所	川の名前:		場所の名前:			

質問	3段階で自分が思ったところに○を付けましょう			評価
	3	2	1	
①水は流れていますか?	すごく流れています	流れています	ほとんど流れていません	①
②水は澄んでいますか?	澄んでいます	少しにごっています(色)	すごくにごっています(色)	②
③魚や虫、鳥などの生き物はいますか?	たくさんいます(名前)	少しいます(名前)	見つかりません	③
④植物がありますか?	たくさんあります(名前)	あります(名前)	ほとんどありません(名前)	④
⑤まわりの景色をどう思いますか?	きれいです	普通です	ごみがたくさんあって汚れています	⑤
⑥自然の音が聞こえますか?	たくさん聞こえます(音)	聞こえます(音)	聞こえません	⑥
⑦川やその周りのおいしさはどうですか?	心地よいにおいがします(におい)	においはしません	嫌なにおいがします(におい)	⑦
⑧川やその周りに食べられる鳥や植物などがありますか?	たくさんあります(名前)	あります(名前)	見つかりません(分かりません)	⑧
⑨ここで遊ぶことができますか?	よく遊んでいます(理由)	たまに遊びます(理由)	遊ぶことがありません(理由)	⑨
⑩水に近づきたいですか?	入って遊びたいです	近づきたいです	離れたいです	⑩

評価結果をレーダーチャートに

**子供版 みんなの川のチェックシート**

2 結果をグラフにしてみよう!  
 ○下の「グラフの作り方」を参考にグラフを作ってみましょう。

**グラフの作り方**

① まず、●で結果をグラフに書き込みましょう。

② 次に●を線で結んだらできあがり!

※なお、下のグラフに自分の結果を書き込んでみましょう!

**注意**  
 他の場所川や他の人の結果とくらべて順番を決めるものではありません。

3 考えてみよう!  
 ○この川の好きなところ、嫌いなところはどこですか?  
 ○どうしたら好きなところが増えるでしょう?

階で評価します。

- ・評価ができたなら、評価結果をグラフ(レーダーチャート)にまとめ、結果について考察を行います。
- ・調査には、特別な調査器具や知識は必要ありません。
- チェックシートを使用するにあたって
- ・チェックシートを使って調査を行う際には、必ず大人(説明者)が同伴してください。
- ・各自が思ったままに評価するもので、他の場所(川)や他の人の評価と優劣をつけるものではありません。
- ・実施マニュアルには、調査の手順や説明する際の着眼点などを記載してありますので参考にしてください。
- ・水辺に近付く際には、事故が起こらないように注意してください。

チェックシートは、水環境課のホームページで公開しています。また、水環境課に御連絡いただければ、必要部数をお送りいたします。

ぜひ、学校の総合的な学習の時間や地域の環境学習などで御活用ください。

# すべての川を清流に川の国埼玉

## 川の再生交流会開催！



埼玉県のマスコット「コバトン」

平成26年1月13日(月)、午前10時からさいたま市民会館うらわにおいて、川の再生活動に取り組んでいる皆さん、約550名が一堂に会し、「川の再生交流会」すべての川を清流に川の国埼玉」を開催しました。

午前の部第1部は、県立浦和第一女子高等学校アナウンス部の司会でさわやかに開催されました。始めに、県立松山女子高等学校

箏曲部の皆さんに清流を流れる花びらをイメージした箏曲「花筏(はないかだ)」を演奏していただき、松山女子高等学校書道部の丸山さんによる書のタイトル看板と共に、箏曲と書のコラボレーションをお楽しみいただきました。

上田知事は、「全ての川でアユが釣れ、塩焼きで食べることができるようになりたい。一番大切なのは県民のムーブメントなので引き続きよろしく願いたい」と挨拶。

続いて、羽生市立三田ヶ谷小学校の6年生の皆さんから「ムジナモの保護・増殖活動」についての発

表と川の国応援団美化活動団体感謝状贈呈式が行われました。感謝状贈呈式では、

19団体が登壇し、感謝状受領団体を代表して「春日部市コミュニティ推進協議会」の永田さんから

感謝状を受け取りました。参加者が一致団結し士気を高める「宣言」は、「川の国埼玉宣言」として、「鴨川を愛する会」の北村さんが川の国応援団を代表して宣言者を務め、壇上には「三田ヶ谷小学校」の皆さんも加わり、会場の皆さんと一体となって、盛大に行われました。

最後は、「綾瀬川を愛する会」の森中さんにリードを務めていただき、参加者全員で県歌を斉唱し、



「美化活動団体感謝状贈呈式」の様子

午前の第1部が終了となりました。午前の部第2部は川の再生活動を行っている皆さんから事例発表が行われました。



獨協大学環境・国際団体Decolによる発表

「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」の発表と「県立深谷第一高等学校」による映像作品「人がまもる、奇跡の魚」の上映、「獨協大学環境・国際団体Decol」による「Decoの挑戦」

「伝右川浄化プロジェクト」、「やしおの川をきれいにする会」による「折川の復活を夢見て」の発表と、県水辺再生課による「川の再生の取組について」の報告が行われ、午前の部が終了しました。

午後の部は、昨年度から分科会の数を一つ増やして初心者向けからベテラン向けまで幅広いテーマを設定した分科会を行いました。今年のテーマは①「始めの一步」、②「アユがすむ川づくり」、③「水質改善、排水対策、浄化槽」、④「都市排水路の川づくり」、⑤「多自然の川づくり」、⑥「にぎわいの川づくり」、⑦「環境学習」の7つのテ

マで行われました。各会場とも盛況で、活発に意見交換が行われました。分科会終了後、分科会のまとめや提案が行われ、川の再生交流会は閉会となりました。

参加者からは、「若い人達が多く参加していて嬉しく思った」「多くの人と交流できてよかった。今後の活動に活かしていきたい」といった感想をいただき、川の再生活動に取り組む団体の皆さんにとって、とても有意義な交流会となりました。

なお、今年度は川の再生交流会と同じ会場で親子向けイベント「あつまれ！みらいの「川の国応援団」水族館がやってくる」を開催しました。さいたま水族館による移動水族館や、折り紙夢工房と県立桶川西高等学校の皆さんによる折り紙教室、折り紙水族館の展示等をお楽しみいただきました。





# 会員のひろば



## 活動報告

～548団体が県内各地で活動中！～

今回は、1月13日に開催した「川の再生交流会」に参加された2団体からの報告です。

### 【川の再生交流会でムジナモの

#### 保護・増殖活動について発表】

羽生市立三田ヶ谷小学校6年1組

三田ヶ谷小学校では学区内にある国の天然記念物「宝蔵寺沼」に自生するムジナモの保護・増殖活動を行っています。

ムジナモは、食虫植物で今は宝蔵寺沼だけで自生しています。

川の再生交流会では、30年以上前から、6年生が中心となって行ってきた取組について紹介しました。

三田ヶ谷小学校では、5年生になると6年生と一緒に地域のムジナモ保存会の方を講師として、ムジナモの歴史や生態を学ぶ「ムジナモ学習」を行います。

6年生はその後ムジナモの保護・増殖を担当します。学校にはムジナモ観察池があって、そこで天敵であるアオミドロの除去をします。

これが絡みつくとムジナモは死んでしまいます。特に暑い時期にアオミドロは増えるので夏休みも当番を決めて登校し世話をします。

学校全体の取り組みとしては「ムジナモ集会」があります。

6年生が講師になってムジナモについてクイズや紙芝居を使って説明します。その後、1年生から6年生までの全校児童で6年生が育てたムジナモを宝蔵寺沼に放流します。今年度は校長先生が育てたものを合わせて600株以上を放流しました。

昨年の9月、10月には大きな台風が襲来して宝蔵寺沼が冠水してしまいムジナモの流失が心配されました。

その後のムジナモ保存会のみなさんの調査では、ムジナモ集会で放流した地域にムジナモが残っていました。本校の保護活動が役に立ったと実感できることでした。

伝統となったムジナモの保護・増殖活動をこれからも継続し、ムジナモの命を守るとともに三田ヶ谷地区の宝を後輩たちに残していきたいと思えます。



### 「川の再生交流会で

#### 圀川のヘドロ調査を紹介」

#### 「やしの川をきれいにする会

#### 池淵勉

私たちの会は、八潮市内を流れる中川や圀川等において定期的に清掃活動を行っています。

また、会報誌「やしの川をきれいにする会通信」を発行して、地域の住民の方に生活排水対策の重要性や会の活動をお知らせしたり、小学校で環境学習会を開催して、子供たちを通して、独自に作成した「啓発環境ファイル」を各家庭に配布しています。

そして、水辺再生100プランに選ばれた東京都と八潮市の境を流れる圀川では、水質・ヘドロの調査も行っています。

川の再生交流会では圀川のヘドロ調査の内容について紹介しました。

任意団体でヘドロに取り組んでいる活動は珍しいとの声がありましたが、そのきっかけは川中のゴミを拾い上げるとヘドロで真っ黒に濁り、「どの程度ヘドロが溜まっているか調査しよう。」と会員からの声でした。

2007年に調査を開始し、その年は109cm、2008年は145cmでしたが、圀川での浚渫工事(2009年～2010年)後は80cm、20

12年は72cm、2013年は66cmとヘドロの量は年々減ってきています。

それまでは増えていたヘドロが工事後減少している。その要因のひとつに家庭雑排水の改善が考えられます。

行政からの呼びかけもあり圀川地区の人々との会合で、家庭からの生活雑排水の改善(洗剤は少なめに、米のとぎ汁は植木に、油污れ以外は洗剤不要なアクリルタワシの配布等して)協力を呼びかけ、3000世帯の皆様にご協力していただきました。

住民の力がいかに大きいか、さらに重要なのが流れのない川に流れを取り戻すための通水量が工事後5倍以上増えたのも要因の一つと言えるでしょう。

ヘドロの減少と共に鳥、魚など生物も観測され、釣り人も、ウォーキングする人々もよく見かけるようになりました。ヘドロの減少と共に圀川が綺麗になった証拠でしょう。

上田知事曰く「埼玉県の全ての川でアユが釣れ、塩焼きで食べることができるようになりたい」。圀川も鮎が泳ぐ姿を夢見ています。(注)ヘドロ測定値は、同一場所の測定値で平均値ではありません。

# 川の国埼玉検定 (中・上級編)を実施!

川の国埼玉検定(中・上級編)を平成25年11月30日(土)、さいたま共済会館で実施しました。今回で4回目の開催で、県内各地で川の再生活動を長年続けられている方々14名が受検しました。

当日は、事前に配布したテキストをもとに、環境科学国際センター研究員による講義が行われ、その後には検定を実施しました。

出題方式は、択一式の30問。出題内容は、河川の水質、川の歴史、県の川づくり、川の生き物など様々な分野からの出題でした。

検定の合格基準は、正解率80%以上で上級合格、60%以上で中級に合格です。



今回の検定では、9名が上級合格、3名が中級合格という結果でした。

検定は、日頃の活動で得た知識を試す機会や、埼玉の川について改めて知る機会にもなります。

次回の中・上級編の検定には、埼玉の川博士を目指して、日頃、川の再生活動に活躍の多くの皆様が、豊かな経験と知識を生かして、チャレンジされることを期待しています。



# 活用してみませんか? 川の国アドバイザー



「川の国アドバイザー」は、県が実施した「川の国埼玉検定(中・上級編)」での上級合格者で、了解していただいた方を登録しています。

今年度、新たに9名を加えて、現在、56名が登録されています。

川に関する知識だけでなく、経験も豊富です。

環境学習の講師などとして、川の再生活動団体などを支援していただくスペシャリストです。

## ▽支援の事例

- ・川の再生活動団体等による河川浄化活動に関する学習
- ・川の再生活動団体等による川づくりに関する学習
- ・小学校での生き物調査、簡易水質検査
- ・小学校での地元の川に関する学習
- ・企業による子供向けの生活排水対策講座
- ・県や市が行う環境講座

## ▽派遣手続

まず、水環境課に、支援を希望する内容を連絡してください。

- ・水環境課が依頼内容にふさわしい川の国アドバイザーを紹介します。
- ・依頼団体は紹介された川の国アドバイザーと直接支援内容について調整してください。

## ▽費用

講師の派遣料や謝金は、一切かかりません。

お気軽にお問い合わせください。

# 川の国応援団の支援メニューに Tシャツが増えます!

平成26年4月から、川の国応援団の支援メニューに「Tシャツ」の提供が新たに加わります。

「Tシャツ」は、1月に開催した川の再生活会の参加者にお配りして好評をいただきましたので、支援メニューに加えることにしました。

なお、数に限りがありますので、先着順で1団体20着までとさせていただきます。この機会にぜひ御利用ください。



- ▽ サイズ: 男性用Lサイズ  
女性用Lサイズ
- ▽ 色: ブルー
- ▽ 背面に「川の国応援団」の文字

※郵送等を希望の場合は、支援を受けようとする団体が、送料の負担をお願いします。

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
(第3庁舎1階)  
TEL: 048-830-3088  
FAX: 048-830-4773  
E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

- ☆活動予定や活動報告などをお寄せください。
- ☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。
- ☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kawanokuniouendan/>

